

## 邯鄲の夢

JJ1SXA／池

中国・唐代のお話に「邯鄲の夢」と言うのがあります。

ある青年が「邯鄲」という町で不思議な枕を借り、ひと眠りした。

——金持ちの女性と結婚し、出世して宰相になる。

しかし、ねたまれ、無実の罪で自殺を思うが、疑いが晴れて一族は繁栄し、天寿をまっとうする。——

其処で目が覚め、自分の将来の一つの姿を知って「人間の一生の栄枯盛衰は一場の夢にすぎないと」と悟る話です。

未来のことを予測し、それが100パーセント判れば、賭け事にしろ、何にしろ全てが的中するわけで、DXやJCCを追いかける場合等に、クラスターやパケットよりも早く情報がわかり、こんな良い事は無いと思うわけですが、良く考えると、その結果もわかるわけで、それが悪い結果とわかってしまえば、これほどつまらない事は無いし、何時死ぬのかと言った事までわかれば、本当に良い事とは言えない反面が有ります。

矢張り、人生は真面目に、素直に、自分で切り開き、立ち向かって生きるべきであると思います。

それと、人生は悟るということが、如何に大事かという事を教えてくれる話です。

でも、なかなか悟れないのも現実です、思い込みをほどほどにできない人に会ったりすると、悟るところでは無くなってしまいますが、皆様はいかがでしょう？

せいぜい、「思い込みはほどほどに」と言う忠告(TWO-FORTY誌47号記事・JA1RIZ局)を守るように努め、また、常に寛容の心をもって、ものごとにあたる事が出来るようになれば良いかなと思い、そのように努力しようと思っています。

脱線して、柔らかい話をすると、「青空」と言う言葉と、この「邯鄲」と言う言葉を組み合わせた言葉がありますが、結構、高尚な言葉だった

のですね。(真偽のほどは不明ですよ！hi)

第48号(平成12年12月発行)掲載